

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
交通英語 2 B		現場での活躍のための実力養成		福山 圭介	2 年次後期	2
科目区分	専門	キーワード	Travel, Transportation, Overseas, Practical Expressions			
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力(技術・理論)を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的(交通・観光関係)な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力(技術・理論)を身につける				
事前に受講するとよい科目		交通英語 A				
講義の目的	将来、鉄道をはじめとした交通の現場で活躍するための英語の応用・実践力をつけることを目的とします。					
到達目標	交通英語(ⅡA)レベル程度の基礎的な表現を前提に、(1)相手の立場に立った英語での対応・表現ができるようになること、(2)状況に応じて過不足なく正確に英語で対応・表現ができるようになること。					
講義内容	交通英語(ⅡA)の応用・実践編として、日本の交通機関を利用する英語話者に対応するための実践力を身につけます。また海外の交通機関についても英語で学習し、日本のシステムとの違いなどを議論します。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	授業方針の説明と簡単な聞き取り問題			
	第2講	Traveling in Japan(1)	Transportation from the Airport			
	第3講	Traveling in Japan(2)	Explaining how to buy a train ticket			
	第4講	Traveling in Japan(3)	Explaining Japan Rail Pass and Suica			
	第5講	Traveling in Japan(4)	Taking a Taxi			
	第6講	Traveling in Japan(5)	Taking a Bus			
	第7講	Traveling in Japan(6)	Explaining Subway Map			
	第8講	Traveling in Japan(7)	City Tours in Tokyo			
	第9講	Trains Overseas(1)	North America			
	第10講	Trains Overseas(2)	England, Australia			
	第11講	Trains Overseas(3)	France, Italy, Spain			
	第12講	Trains Overseas(4)	Germany, Northern Europe			
	第13講	Trains Overseas(5)	Eastern Europe, South America			
	第14講	Trains Overseas(6)	Asia			
第15講	まとめと演習	これまでの復習演習				
指導方法	上記の講義スケジュールに沿って、さまざまな聞き取り、映像の視聴、英語のクイズなどを行います。講義はパワーポイントスライドによる座学に加え、実践的なスキット演習も取り入れていく予定です。					
事前学習	事前に目を通しておくべき資料などを授業内で指示します。(目安 60 分程度)					
事後学習	授業の理解度を確保するための課題問題があります。授業をしっかり復習して解いてください。(復習と解答で 90 分程度)					
成績評価方法	平常点(主に課題点)50%+本試験 50%					
テキスト	テキストは指定しません。					
参考書籍	観光英検センター編『ベーシック観光英語』, 三修社, 2014 年.					
特記事項	原則として前期の交通英語 2 A のクラス分けと同じメンバーで行います。					